

安全データシート (SDS)

1 製品及び会社情報

製品の名称 業務用ハニカム防虫ファンAC

会社名	アース・バイオケミカル株式会社
住所	〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-12-1
担当部門	研究開発部 (企画開発担当) 電話番号 088-665-5750 (徳島) FAX 番号 088-665-5383
緊急連絡電話番号	品質保証室 088-665-5353

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない	
	可燃性 / 引火性ガス	分類対象外	
	エアゾール	分類対象外	
	支燃性 / 酸化性ガス	分類対象外	
	高压ガス	分類対象外	
	引火性液体	分類対象外	
	可燃性固体	分類できない	
	自己反応性化学品	分類できない	
	自然発火性液体	分類対象外	
	自然発火性固体	区分外	
	自己発熱性化学品	分類できない	
	水反応可燃性化学品	区分外	
	酸化性液体	分類対象外	
	酸化性固体	区分外	
	有機過酸化物	区分外	
	金属腐食性物質	分類できない	
	健康有害性 ¹	急性毒性 (経口)	区分 4 ²
		急性毒性 (経皮)	区分外
急性毒性 (吸入: ガス)		分類対象外	
急性毒性 (吸入: 蒸気)		区分 2 ²	
急性毒性 (吸入: 粉塵)		分類対象外	
急性毒性 (吸入: ミスト)		分類対象外	
皮膚腐食性 / 刺激性		区分外	
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性		区分外	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		区分外	
生殖細胞変異原性		分類できない	
発がん性		分類できない	
生殖毒性		分類できない	
特定標的臓器 / 全身毒性 (単回ばく露)		分類できない	
特定標的臓器 / 全身毒性 (反復ばく露)	分類できない		
吸引性呼吸器有害性	分類できない		
環境有害性 ¹	水生環境有害性 (急性)	区分 1 ³	
	水生環境有害性 (慢性)	区分 1 ³	
	オゾン層への有害性	区分外	

1. 健康有害性及び環境有害性については、本品の薬剤カートリッジに含浸させている薬液の情報をもとに分類を行った。
2. 急性毒性（経口）及び急性毒性（吸入：蒸気）については、各成分の情報から推定毒性値を算出した結果、本品の急性毒性（経口）を区分4、急性毒性（吸入：蒸気）を区分2とした。
3. 水生生物環境有害性（急性）及び水生環境有害性（慢性）については、各成分の情報から推定毒性値を算出した結果、本品の水生生物環境有害性（急性）及び水生環境有害性（慢性）を区分1とした。

ラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：飲み込むと有害

吸入すると生命に危険

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き：【安全対策】

- ・ すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 定められた使用方法を厳守すること。
- ・ アレルギー症状やかぶれなどを起こしやすい特異体質の人は、薬剤の処理作業には従事しないこと。
- ・ 使用時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 屋外または換気の良い場所で使用すること。
- ・ 呼吸用保護具を着用すること。
- ・ 観賞魚、小動物、小鳥、植物等にかからないようにすること。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ 環境への放出は避けること。
- ・ 漏出物を回収すること。

【応急処置】

- ・ 吸入した場合は、直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の診療を受けること。
- ・ 皮膚に付着した場合は、石けん等でよく洗うこと。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、速やかに医師の診療を受けること。
- ・ 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、速やかに医師の診療を受けること。
- ・ 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄すること。コップ1～2杯の水または牛乳を与え、胃内で薄めてもよい。無理に吐かせようとせず、直ちに医師の診察を受けること。

【保管】

- ・ 容器を密閉して、直射日光や火気を避け、換気の良い場所に施錠して保管すること。
- ・ 食品、食器、飼料等と区別し、小児の手の届かない場所に保管すること。

【廃棄】

- ・ 使用済みの空容器は適切に処分すること。

最重要危険有害性：情報なし
 特定の危険有害性：情報なし

3 組成、成分情報

混合物（防虫ファン製剤）

化学特性

成分	有効成分	トランスフルトリン
	酸化防止剤	ジブチルヒドロキシトルエン
	溶剤	トリアセチン
	基材	ハニカム構造紙

危険有害成分：情報なし

4 応急措置

- 吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させる。直ちに医師の診療を受ける。
- 皮膚に付着した場合：石けん等でよく洗う。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、速やかに医師の診療を受ける。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、速やかに医師の診療を受ける。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄する。コップ1～2杯の水または牛乳を与え、胃内で薄めてもよい。無理に吐かせようとせず、直ちに医師の診察を受ける。

医師に対する特別注意事項：本品はピレスロイド系殺虫剤である。

5 火災時の措置

消火剤：二酸化炭素、粉末（初期火災）

泡消火剤（大規模火災）

使ってはならない消火剤：消火に棒状水を用いてはならない。

特定の危険有害性：燃焼ガスには、CO、HF、HCl等の有害なガスが含まれる可能性があるため、消火作業の際には煙を吸入しないように注意する。

消火を行う者の保護：消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入は避ける。必ず適切な保護具（呼吸用保護具、保護面、ゴム手袋、保護眼鏡等）を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項

保護具（呼吸用保護具、保護面、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、長靴等）を着用して行う。

風下の人を退避させ、風上から作業する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

環境に対する注意事項

土壌汚染を防ぎ、下水、排水等へ流入しないようにする。

除去方法

密閉できる容器（廃棄物入れ）に回収した後、汚染した箇所を洗剤と水でよく洗浄する。

洗浄水は密閉できる容器（廃棄物入れ）に回収する（処分は「13 廃棄上の注意」に従う）。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策
1. 分解、改造等を行わない。また、修理は販売店または問い合わせ先に相談する。
 2. 電源プラグの取扱いに際して以下の点に注意する。
 - ・濡れた手で抜き差ししない。
 - ・コンセントから抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
 - ・使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いておく。
 - ・電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。
 - ・電源プラグにごみなどを付着させない。
 3. 電源コードの取扱いに際して、以下の点に注意する。
 - ・傷つけない。
 - ・加工しない。
 - ・無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない。
 - ・束ねない。
 - ・重いものを乗せない。
 4. 交流 100V 以外の電源は使用しない。また、定格 15 A 以上のコンセントを単独で使用する。
 5. 水につけたり水をかけたりしない。
 6. 小児の手の届かない所で使用する。
 7. 本品は延約 1500 時間使用可能 (1 日 24 時間使用で約 60 日間)。

注意事項

1. 定められた使用方法を厳守し、用途以外には使用しない。
2. 不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使用しない。
3. 回転しているファンに直接触れない。
4. 回転しているファンへ物を落としたり、入れたりしない。誤って落としたときは、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてから取り除く。
5. 器具を持ち運ぶときは、ドーム状カバーを持つと本体が外れて落下し、故障の原因となるので、必ず本体部分を持つ。

安全取扱い注意事項：上記による。

保管

- 技術的対策
1. 容器を密閉して、直射日光や火気を避け、換気の良い場所に施錠して保管する。
 2. 食品、食器、飼料等と区別し、小児の手の届かない場所に保管する。
 3. 3 カ月以上の長期にわたり使用しない場合、薬剤カートリッジを器具から外し、アルミホイルに包んで保管する。

混触禁止物質：強酸化剤、アルカリ性物質

保管条件：直射日光を避け、涼しい場所で保管する。

安全な容器包装材料：情報なし

8 ばく露防止及び保護措置

設備対策 換気設備を備えた場所で取扱う。また、取扱い場所の近くに手洗設備を設ける。

保護具 呼吸用保護具、保護面、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、長靴等

9 物理的及び化学的性質 (薬剤カートリッジ)

物理的状態 : ペーパーコア状
外観 : 白～淡黄色
臭い : ほとんどなし
pH : 情報なし
融点・凝固点 : 情報なし
沸点、初留点及び沸点範囲 : 情報なし
引火点 : 情報なし
燃焼または爆発範囲の上限・下限 : 情報なし
蒸気圧 : 情報なし
比重 (相対密度) : 情報なし
溶解度 : 情報なし
n-オクタノール/水分配係数 : 情報なし
自然発火温度 : 情報なし
分解温度 : 情報なし

10 安定性及び反応性

安定性 : 通常の貯蔵・取扱いにおいて安定
反応性 : 情報なし
危険有害な分解生成物 : 熱分解により、CO、HF、HCl 等が発生する恐れがある。

11 有害性情報

急性毒性 : 情報なし (別添資料参照)
局所効果 : 情報なし (別添資料参照)

12 環境影響情報

情報なし (別添資料参照)

13 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 有毒ガス (CO、HF、HCl 等) が発生する恐れがあるので、排ガス洗浄設備を備えた焼却炉で燃焼するか、専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等の排出は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。
汚染容器・包装 : 専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14 輸送上の注意

国連番号 : 情報なし
品名 (国連輸送名) : 情報なし
国連分類 : 情報なし
容器等級 : 情報なし
海洋汚染物質 : 情報なし
MARPOL 73/78 附属書及び IBC コード : 情報なし

運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。該当法規に従い、輸送を行う。車両、船舶にはゴム手袋、保護眼鏡、保護マスク等の保護具を備える他、異常時の処理に必要な消火器、工具を備えておく。

15 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律：

第 2 種監視化学物質 トランスフルトリン

優先評価化学物質 ジブチルヒドロキシトルエン (優先評価化学物質通し番号：64)

労働安全衛生法：施行令第 18 条の 2 第 262 号 ジブチルヒドロキシトルエン

PRTR 法：第 1 種指定化学物質 第 207 号 ジブチルヒドロキシトルエン (< 1%)

16 その他の情報

毒物及び劇物取締法 非該当

環境ホルモン 疑われる化学物質リスト中には含まれず。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の見取りを対象としたものです。

別添

トランスフルトリンの有害性情報と環境影響情報

有害性情報

急性毒性

- ラット経口 () LD₅₀ > 5,000 mg/kg
マウス経口 () LD₅₀ > 583 mg/kg、() LD₅₀ > 688 mg/kg
ラット経皮 () LD₅₀ > 5,000 mg/kg
ラット吸入 () LC₅₀ > 513 mg/m³

局所効果

- ウサギ皮膚刺激性 刺激性なし
ウサギ眼刺激性 刺激性なし

感作性

- モルモット皮膚感作性 感作性なし (Buehler 法)

慢性毒性

- ラット NOEL () 1.0 mg/kg/日、() 1.4 mg/kg/日 (混餌投与、2年間)

発がん性

- ラット 発がん性なし (混餌投与、2年間)

変異原性

- エームズ試験、染色体異常試験、小核試験、不定期 DNA 合成試験、前進突然変異試験、体細胞組換え試験及び DNA 損傷試験で陰性。

生殖発生毒性

- ラット、ウサギ 催奇形成なし
ラット 繁殖性に影響なし (二世世代繁殖試験、混餌投与)

環境影響情報

生態毒性

- 魚毒性 コイ LC₅₀ (48 時間) 0.016 mg/L
ニジマス LC₅₀ (96 時間) 0.0007 mg/L
ミジンコ EC₅₀ (48 時間) 0.0017 mg/L